

氏名	宮 井 正 彌
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3376号
学位授与の日付	平成11年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	熊本水俣病認定審査会の1975年12月から1981年4月にかけての申請者に対する1981年5月から1992年7月までの判断についての評価
論文審査委員	教授 吉良 尚平 教授 黒田 重利 教授 阿部 康二

学位論文内容の要旨

1975年12月から1981年4月にかけて水俣病認定審査会に審査の申請をした不知火海沿岸地方に住む住民3,870例に対して、認定審査会が1975年12月から1981年4月までに示した判断と1981年5月から1992年7月までに示した判断とを比較し検討した。1975年12月から1981年4月までの認定は340例であり、1981年5月から1992年7月までの認定は298例で、合わせると638例となり、認定の割合は16.4%であった。

1977年に環境庁から出された現行の認定基準を用いて筆者らが考案した論理演算式を本データに当てはめ、この式を満たす例のなかで1981年5月から1992年7月までに認定されたのは111例で、満たさない例から認定されたのは133例であり、現行基準を満たさない例であっても認定審査会は認定していた。

1981年5月から1992年7月までの認定群は1975年12月から1981年4月までの認定群に比べ、有症の割合が低く、認定審査会では時期的な経過で一貫した認定基準の適用がなされていなかったことが明らかにされた。

論文審査結果の要旨

本研究者は主論文に先立つ副論文として、環境庁が示した「後天性水俣病の判断条件」の4基準のうち、神経症状に関する抽象的な記述が含まれる基準を除いた残りの3基準に着目して、症状の有無から認定の判断を行おうとする論理演算式を考案し報告している。主論文では、熊本水俣病認定審査会に審査の申請をした3870例に対する審査会の判断と、本研究者が考案した論理演算式から得られた判断とを1981年4月以前と同年5月以降に分けて比較検討している。結果は実際に水俣病と認定された症例数と、演算式から認定に相当すると判断された症例数とはかけ離れたものであり、認定審査会が時期的な経過で一貫した基準の適用がなされていなかった可能性を指摘している。この論理演算式は必ずしもすべての認定基準を考慮したものではないが、認定作業の合理的かつ迅速化を目的とした方法論の一つと認められる。よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。